

平成18年11月9日

各位

会社名 常磐興産株式会社
代表者名 取締役社長 斎藤 一彦
(コード番号 9675 東証第1部)
問合せ先 取締役管理本部長 秋田 龍生
(TEL. 03-3663-3411)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年8月25日の第1四半期業績発表時に公表した平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1.平成19年3月期 中間業績予想の修正(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(1)連結

(単位:百万円)

| 区 分 | 売 上 高 | 経常利益 | 中間純利益 |
|----------------|--------|-------|-------|
| 前回発表予想 [A] | 20,770 | 450 | △ 240 |
| 今回修正予想 [B] | 21,445 | 504 | △ 148 |
| 増減額 [B]—[A] | 675 | 54 | 92 |
| 増 減 率 | 3.2% | 12.0% | — |
| 前期(平成17年9月期)実績 | 22,101 | 909 | 223 |

(2)個別

(単位:百万円)

| 区 分 | 売 上 高 | 経常利益 | 中間純利益 |
|----------------|--------|-------|-------|
| 前回発表予想 [A] | 13,220 | 880 | △ 180 |
| 今回修正予想 [B] | 13,694 | 934 | △ 130 |
| 増減額 [B]—[A] | 474 | 54 | 50 |
| 増 減 率 | 3.6% | 6.1% | — |
| 前期(平成17年9月期)実績 | 14,213 | 1,025 | 36 |

2.平成19年3月期 通期業績予想の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(1)連結

(単位:百万円)

| 区 分 | 売 上 高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|----------------|--------|------|-------|
| 前回発表予想 [A] | 49,410 | 540 | △ 390 |
| 今回修正予想 [B] | 49,180 | 550 | △ 350 |
| 増減額 [B]—[A] | △ 230 | 10 | 40 |
| 増 減 率 | △ 0.5% | 1.9% | — |
| 前期(平成18年3月期)実績 | 46,160 | 521 | △ 154 |

(2)個 別

(単位:百万円)

| 区 分 | 売 上 高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|----------------|--------|--------|---------|
| 前回発表予想 [A] | 30,350 | 740 | △ 440 |
| 今回修正予想 [B] | 30,330 | 690 | △ 580 |
| 増減額 [B]—[A] | △ 20 | △ 50 | △ 140 |
| 増 減 率 | △ 0.1% | △ 6.8% | △ 31.8% |
| 前期(平成18年3月期)実績 | 28,497 | 600 | △ 1,691 |

3.修正理由

①中間業績予想

売上高につきましては、当社燃料商事事業部における石炭販売が好調に推移し、連結・個別とも増加する見込みとなりました。

連結において建設・土木業部門の業績が前回公表時より悪化する見通しとなりましたものの、持分法適用会社の増加及び貸倒引当金戻入益の計上等により、中間純利益は増加する見込みとなりました。

②通期業績予想

売上高につきましては、連結・個別とも、概ね公表どおり推移する見通しであります。

当期純利益につきましては、個別ではレジャーリゾート事業部での環境整備等に伴う費用が増加し、上記建設・土木関連子会社での業績悪化に伴う特別損失も243百万円増加する見込みのため減少する見通しとなりました。連結では持分法適用会社の増加及び関連会社の遊休資産の売却等により増加する見込みとなりました。

以 上